

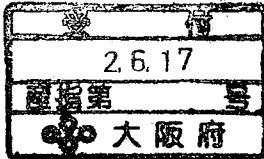
（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月17日

大阪府知事 殿

提出者



住所 大阪市北区天満1丁目3番21号

氏名 株式会社 松村組 大阪本店

取締役専務執行役員本店長 西村 正治
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6354-8814

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 松村組 大阪本店
事業場の所在地	大阪市北区天満1丁目3番21号
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	212.1億円
③従業員数	122人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	排出量	1840 t	212.9 t
	（これまでに実施した取組） 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一（ロスの削減） ・工事生産化（プレカット、PC化、プレハブ化等） ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	排出量	1656 t	191.6 t
	（今後実施する予定の取組） 各工程で、発生元の材料ごとに減量化、分別、リサイクルの検討を行う。 ・基準寸法の統一（ロスの削減） ・工事生産化（プレカット、PC化、プレハブ化等） ・システム型枠、打ち込み型枠 ・型枠材、仮設材の転用回数を増やす、工事後の再利用をする ・材料供給会社に対して省梱包、無梱包を指導、依頼する ・分別により、有価物として回収される量を増やす		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別（再生利用等）廃棄物の分別
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・一般廃棄物・産業廃棄物に分別 ・安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別 ・もっぱら物と廃棄物に分別 ・石綿含有産業廃棄物の分別 ・処理方法別（再生利用等）廃棄物の分別

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
632 t	37.8 t	27.8 t	t

②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
568.8 t	34 t	25 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	—	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	全処理委託量	1840 t	212.9 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1840 t	210 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組)			

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

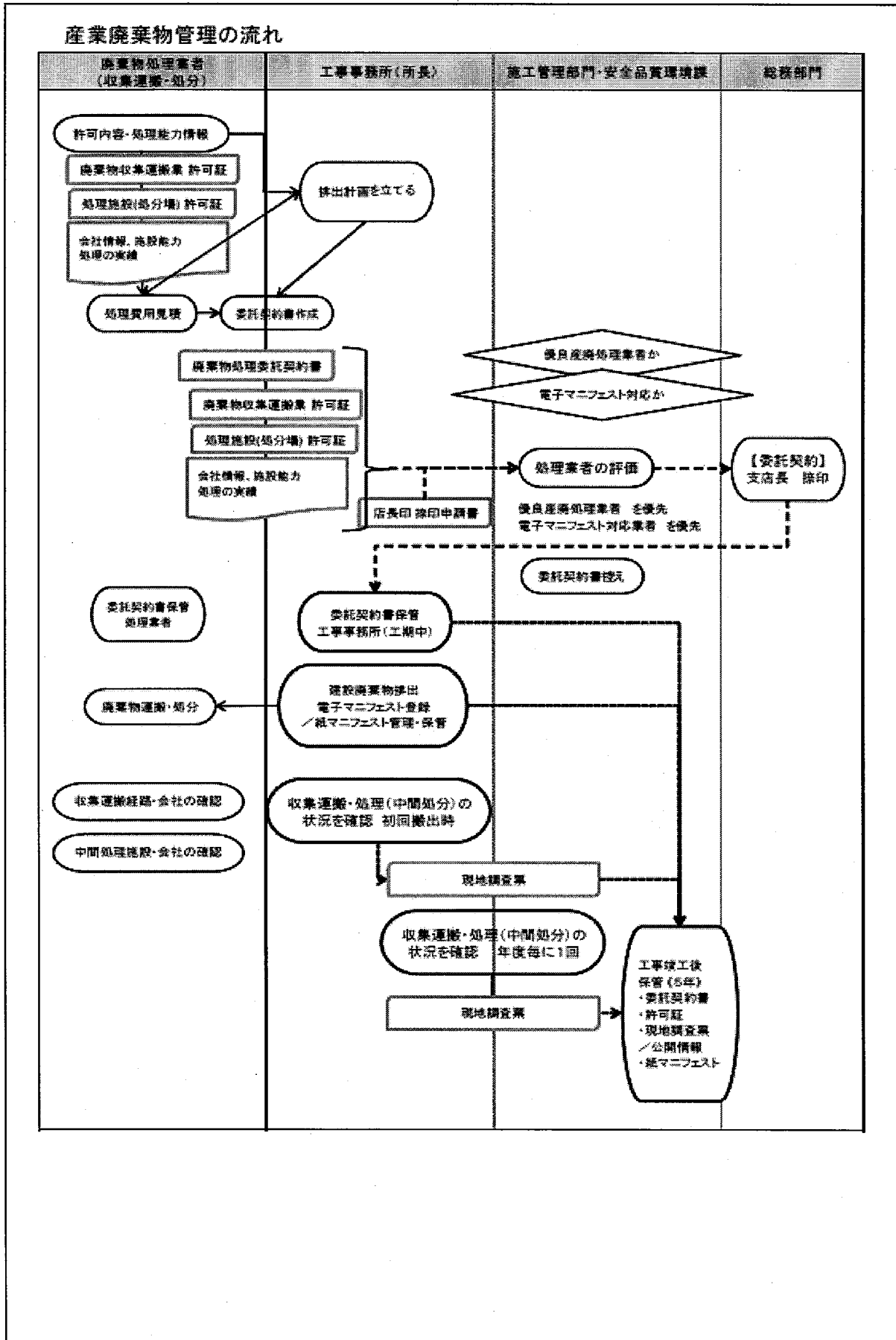
アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)	
632 t	37.8 t	27.8 t	t
0 t	0 t	7.7 t	t
632 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	コンクリート片
	全処理委託量	1656 t	191.6 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1656 t	189 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	優良認定処理業者への委託割合を拡大する		
※事務処理欄			

②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物(管理型)	
568.8 t	34 t	25 t	t
0 t	0 t	6.9 t	t
568.8 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t
0 t	0 t	0 t	t

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図

